



アートな街、多治見市での デザイン思考実践体験！

このワークショップは、日本の地方の課題を、東海地区学生と世界各国からの留学生、地域コミュニティーの方と一緒に考え、デザイン思考の学びと体験を通じて課題解決に結び付くような新しいアイデアを生み出すことを目的とした研修です。場所は、岐阜県多治見市。現在も美濃焼、タイルの産地として知られ、街自体がアートの街ですが、資源が限られている伝統産業をどのように継続していくかなど、課題も抱えています。講師は、Copenhagen Institute of Interaction Design (CIID)の創設者であるSimona Maschiさんを講師にお迎えします。CIIDは、革新的な製品、サービス、環境のデザインを通じてインパクトを生み出す、国際的創造力の拠点として有名です。多治見市の地域課題を例に、人々のニーズ、意見、行動を明らかにし、成功する製品やサービスの開発に応用するためのプロセスと手法を学びます。「デザインとは、人と地球に価値をもたらす新たな創造物を作り上げること」であり、この芸術的要素が真のインパクトを生み出すためには、デザインの段階で、起業家的なスキルとプロセスを補完する必要があり、このワークショップでは、多治見市の地域を例に、アイデア創出からベンチャー思考まで、創造的なプロセスを体験します。ふるってご応募ください！

※この研修は今後開催されるビジネスプラン構築研修、海外研修審査選考会に参加することを推奨しています。



世界丸ごとアントレ研修2022デンマーク方式
in 多治見市



日時と場所

2022.8/8^月-10^水終日

岐阜県多治見市(期間中は全員宿泊)

対象

東海地区の学部生・大学院生なら
誰でも参加できます。

- 地域課題に興味がある
- デザインを使ってイノベーションを起こしたい。
- デザインの対象となるユーザー、顧客、ステークホルダーを理解する。
- ローフィデリティ・プロトタイプングを試してみたい。

といったようなことに興味のある方、ぜひご参加ください。

※1 名古屋大学から多治見市まではバスを用意する予定だが参加者の状況により現地集合の可能性もある。ランチは自費。

言語

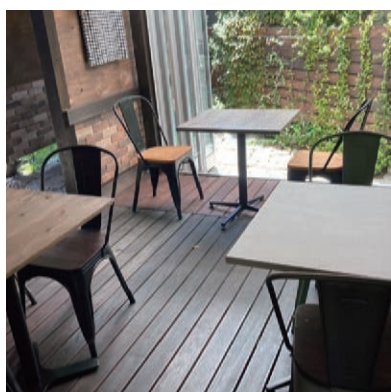
日本語と英語

定員
15名

参加費
無料^{※1}

講師 シモナ・マスキ
CIID共同創業者でCEO

Designing new services in the city of art, Tajimi



スケジュール (12:00~13:00はランチ)

8/8

9:00~12:00
○ 多治見市について学ぶ
多治見DMO、商店街など訪問など



13:00~19:00
○ CIID Workshop
背景と可能性

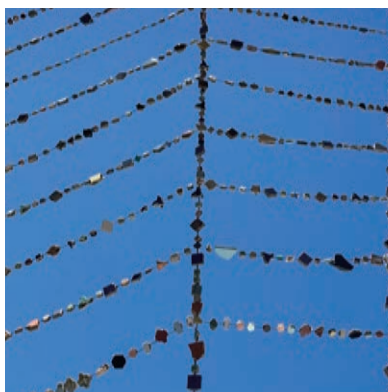


8/9

9:00~12:00
○ 多治見市について学ぶ
笠原町エリア・バス乗車体験など



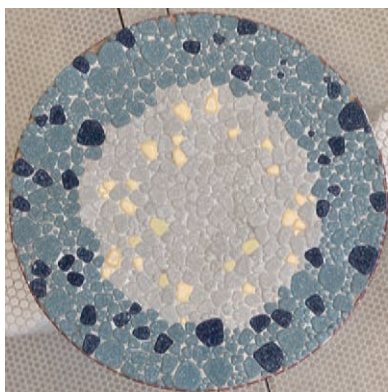
13:00~19:00
○ CIID Workshop
アイデアの創出とプロトタイピング



8/10

9:00~12:00
○ 発表準備
グループワーク、インタビューなど

13:00~17:00
○ CIID Workshop
プロトタイピングと共創
プレゼンテーション



講師



シモナ・マスキ
CIID共同創業者でCEO



<https://forbesjapan.com/articles/detail/31027>
<https://wired.jp/2020/01/19/ciid-simona-maschi-interview/>

●主催:Tongali ●共催:多治見市役所

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START)大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援

お問い合わせ

名古屋大学 Tongali事務局

〒464-8601名古屋市中千種区不老町ナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)3階311号室

TEL 052-747-6490

E-mail tongali@aip.nagoya-u.ac.jp
URL <https://tongali.net/>

お申し仕込み
詳細情報は
こちらから

